

2017年度学位授与式 / 謝恩会

学位授与式

2018年3月24日(土)、立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(以下RBS)は博士課程前期課程を89名、博士課程後期課程を1名の方が修了され、各々経営管理学修士(MBA)・経営管理学博士(DBA)の学位を取得されました。

学位授与式は18:30よりタッカーホールで行われました。アカデミック・ドレスを着用された方も多く見受けられ、厳かな雰囲気で行われました。

総長の吉岡先生からは、「一人ひとりが問題を発見し、真摯に考え抜くという作業を積み重ねて学位を取得



された」との式辞がありました。

修了生の方々はビジネスパーソンとして問題を感じRBSに入学されそして修了されました。RBSでの学びで専門分野以外に触れられ、また様々な交流の中で視野が広がり物事を俯瞰する事が出来たからこそ、学位を取得されたと考え、まさに「ゼネラリストのスペシャリスト」というRBSの育成目的を体現されたと感じました。

学位授与式の後には第一食堂で懇親会が開かれました。修了生の方々は思い出話に花を咲かせ修了された喜びを語りあっていました。



謝恩会

学位授与式の翌日3月25日(日)、RBS15期生の方々による謝恩会がセントポールズ会館で開催されました。当日は天気も良く桜も八分咲きで、まさに謝恩会日和でした。

ビジネスデザイン研究科委員長である亀川教授を始め、教員の方々を多数お招きし開宴。ご退任される先生方からのご挨拶では、修了生の方々そして今後のRBSについての期待を述べられました。

15期生の方々が一生懸命に考えられたゲームも盛り上がり、



先生方は様々な賞品を獲得されておられました。

また16期生から15期生の方々へプレゼントとして2年間の大学院生活をまとめたスライドを投影しました。15期生の方々は時折笑いながらRBSでの2年を振り返っていました。

先生方、修了生の方々ともに和やかな雰囲気の中、2年間の思い出を語られあつと言う間に閉宴を迎えました。

集合写真撮影後、有志で2次会に行かれる方も多数おられ、RBSとしての時間を最後まで満喫して過ごしていました。

取材記事 / 16期生 松木 純一郎